



2011~2012年度
国際ロータリーのテーマ
こころの中を見つめよう
博愛を広げるために
2011~2012年度
RI会長 カルヤン・ハネルジー

WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

創会 立 1980年(昭和55年)1月10日
幹 長 高須 洋志
事 長 馬場 将嘉
クラブ広報委員長 関谷 俊征
例会 日 毎週木曜日 PM12:30~
場 ヒルトン名古屋

事務局 460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋910号
TEL: 052-211-3803
FAX: 052-211-2623
MAIL: 2760_nagoya@mizuho-rc.jp
URL: http://www.mizuho-rc.jp/

第1520回例会

~新世代のための月間~
クラブテーマ:「熱田の杜・友愛・気品」

2011年9月15日(木) 晴 第10回

司 会 : 鈴木健司会場委員
齊 唱 : 「それでこそロータリー」「四つのテスト」
ゲ ス ト : 豊橋ゴールデンRC副幹事 若林正治さん
新世代奉仕委員長 大林則久さん
ビ ジ タ ー : 岩倉RC 井上隆義さん
名古屋南RC 近藤禎男さん
名古屋RC 秋吉 茂さん

会長挨拶

高須洋志会長

皆さんこんにちは。本日はRCの組織の情報のお話をしたいと思います。3月の東日本大震災に際し、ガバナー会から義援金の募金の依頼がありました。2760地区も田嶋ガバナー年度にクラブとして集めた義援金をお渡ししました。ガバナー会とは全国にある34地区のガバナーの同期会のようなものです。ガバナー会に義援金が約10億3880万円集まり、その内1億2300万円を被災地の各地区に送り、残り約8億7000万円はプールされております。この対応が正当なものであるかどうか、RC組織内で議論が起こっています。ガバナー会というのはガバナーの同期会であり、物事を決定し、資金をプールし、何かを企画する権限は無いというのが経験豊富なパストガバナーの方達のご意見であります。一例を挙げますと、尼崎西RCの田中さんが組織しておられる『源流の会』というのがあり、ガバナー達からはこのガバナー会という同期会が提起した義援金の募金と被災地への支援の仕方について、疑義を唱えております。地区あるいはクラブによっては、一旦ガバナー会に納めた義援金を返金してもらい、直接被災地のガバナー宛に送り、その用途をお任せするという対応をしているところがあります。2760地区にはそういう動きはありませんし、田嶋さんはおそらくお決めになったガバナー会の対応は正当なものだとお考えになっていると思いますが、議論があるということをご承知ください。RCが単独でガバナー会に対して返金を請求し、それを独自に別のかたちで支援するという事は可能ですので、それが考え方として正当と判断すればそうすればいいと思います。もう一つガバナー会が提案したのは残ったお金はどうするかということです。残ったお金を核にし、両親を震災で亡くされた被災孤児の教育資金に使う基金作りをしたいというのが提案の1つです。ファイブフォーワンというプログラムができ、被災地以外の5つの元気なクラブが被災地の1つのクラブを支援しようと言っていました。その後音無です。日本のRC内部で議論が起こり、今は動きが取れないのだと思います。何が正当かの判断は難しいところではありますが、皆さんも現状がどうなっているかをご認識を頂きたいと思い、お話をさせていただきます。



出席報告

近藤茂弘出席委員

会員67名 出席46名 (出席計算人数51名)

出席率 78.0% 9月 8日は補填により 94.7%

幹事報告

馬場将嘉幹事

- ・本日13時40分よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて第13回地区大会実行委員会を行います。
- ・次週9月22日(木)13時40分よりヒルトン名古屋9階「つるの間」にて第1回長期ビジョン委員会を行います。
- ・野崎信子さん(会員:野崎洋二さんの妻)9月16日(金)18時よりお通夜、9月17日(土)12時より告別式を『いちやなぎ中央斎場』にて行います。
- ・次週9月22日(木)はなごやか例会を開催いたします。12:00より食事が出来る状態にしておきます。立食になっていますが、高齢者の方は真ん中にテーブルとイスをご用意しておりますのでお座りになって下さい。12:30より出席確認しますが、点呼は行いません。13:00に点呼を行い、通常行事を行い、13:30終了といたします。終了後も珈琲を飲めるようにしておきます。
- ・ロータリー全国囲碁大会に出席される方は事務局まで申し出ていただきますようお願いいたします。

ニコボックス

近藤茂弘ニコボックス委員

- ・当クラブの新世代奉仕活動の報告に参りました。どうぞよろしくお願いいたします。
- 豊橋ゴールデンRC 若林 正治さん 大林 則久さん
- ・お世話になります。 井上 隆義さん
- ・9月20日は私の誕生日です。 近藤 雄亮さん
- ・今月は誕生日です。 岡村 達人さん
- ・誕生日を迎えられることができました。 鈴木 淑久さん
- ・今日は家内の誕生日です。暑い日が続きます。 稲垣 豊さん
- ・まだまだ経験を積んで人生を勉強いたします。 嶺木 一夫さん
- ・老人の日も近づいて感謝。 江口 金満さん
- ・先日大嶽さんにお世話になりました。明日の午後3時から3時30分迄のテレビ愛知で病院が放送されます。 松波 恒彦さん
- ・暑い日が続いております。 内田 久利さん
- ・「敬老の日」です。おめでとうございます。先日、内田さんからすてきなプレゼントを頂きました。無くさないように大切に使います。 関谷 俊征さん
- ・増田盛英さん、お世話になりました。 岡本 忠史さん
- ・豊橋ゴールデンRCの若林様、大林様に卓話をお願いしました。 よろしく申し上げます。 天野 正明さん

敬老の日のお祝い

本年度敬老お祝い対象者

嶺木 一夫さん 江口 金満さん 布目 徳さん
山田 鎮浩さん 鈴木 圓三さん 岩本 成郎さん
岩田 吉廣さん

お祝いの言葉: 関谷俊征さん



長年にわたり、社会に尽くしてきた老人を愛し、長寿を祝うことを趣旨としているのが、敬老の日だそうです。母の日のように、国外から輸入されたような記念日と違い、日本以外にはない日本独自の素晴らしい記念日です。世の中がめまぐるしく変わる昨今です。ロータリーに限らず、色々な場面で、その変化に向き合っていくかなければなりません。いつの時代も難しく大切な事は、変えてはいけない事と、変えなければならぬ事の見極めであると思いますが、正しい判断をする為、経験の少ない私達に的確なアドバイスをしていただけるのは、経験豊富な皆様方であると思います。いつまでもお元気でご活躍をされますよう心よりお祈り申し上げ、また私達にご指導いただきますようお願いを申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。おめでとうございます。

お礼の言葉: 江口金満さん



ただ今、貴重で暖かいプレゼントを頂戴いたし、本当にありがとうございます。1年は短いもので、この間敬老の日も済んだと思っておりましたが、本日またここに立ってご挨拶をしなければならぬのでございます。還暦を迎えた時、熱田神宮にお参りしてお礼を拝受してきました。男女別々に厄年の年齢が書いてあり、61歳は空白で書いてありませんでした。係の人に聞くと「60歳以上は還暦ですから毎年厄です。気を付けて生活して下さい」と警告がましい挨拶を頂戴しました。長寿のお祝いはステップが10項目あります。私は去年、米寿でございました。このステップを踏むことが私たちの余命の仕事ではなからうかと思ひます。皆様、暖かく、そして厳しく、ご愛護のほどお願いします。

卓話

豊橋ゴールデンRC

副幹事 若林正治さん

新世代奉仕委員長 大林則久さん

豊橋ゴールデンRCの新世代奉仕活動について



<副幹事 若林正治さん>

皆さんこんにちは。まずは豊橋ゴールデンRCの紹介をさせていただきます。豊橋市の人口は38万人、5つのRCがございます。当クラブは1988年10月28日設立されました。RI加盟は1988年11月17日、チャーターナイトが1989年3月19日、チャーターメンバー45名からスタートしました。スポンサークラブは豊橋RC、現在の会員数は63名、平均年齢が58.73才(最年長78才、最年少36才)です。つい最近まで会員数が53名と減少傾向にありましたが、再来年25周年を迎えるにあたり、ここ数年は会員拡大に力を入れていました。その結果、2年間で10名増えて63名になりました。

創立当初は親クラブである豊橋RCが行っていたRAC活動のお手伝いをし、クラブ間の親睦を深めることに重点を置き活動をしていました。平成4年頃、東三河全域の59校の中学校にNHKで作った環境汚染についてのビデオを配りました。その感想文を生徒さんに書いて頂いたことをきっかけに、環境汚染をテーマに意見交換をする場を作るという青少年のための事業を開催いたしました。「我らの天体、地球の保全」というテーマでパネルディスカッションや中学生同士6つの分科会を行い、環境問題・福祉

問題などの意見交換・発表が行われました。校庭の裏側に小さな小川が流れる小学校でゲンジボタルの飼育を行っていましたが、環境問題で飼育が難しくなってきました。そのためゲンジボタルの飼育がしやすい環境作りのお手伝いを行いました。小学生達と共に川の清掃や魚の放流にも取り組みました。建築関係や医療関係など、会員の専門職を活かし、高校生に対してやりたい仕事に就くためにどうしたらいいかを教える『なるには講座』を行っています。平成6年から毎年1回、豊橋市内にある全12校のボランティア活動をしている高校生の連絡協議会を立ち上げました。高校生同士で協議し、社会について考えられる高校生になって頂きたいと考えています。豊橋ゴールデンRC創立10周年記念事業の企画・運営を高校生の方にお任せしました。豊橋の街は身障者にとって優しい街なのかを調べるため、実際に車いすの方々にお越し頂き、段差などを調査し、その資料を市長に提出しました。平成6年から『高校生ボランティアネットワーク』の支援を行っていますが、高校生として活動できるのは3年間だけです。卒業後にも地域の活性活動をできないかと、ボランティアネットワークの高校生と共に始めたのが『ひまわりと話そう。』という事業です。創立20周年の時には各学校の代表者に集まり、今後ボランティアネットワークを後輩達にどのように引き継いでいくかを話し合いました。昨年1年間の活動を映像を交えながら、大林さんから話していただくと思ひますので、ここでパトタッチさせていただきます。ありがとうございました。



<新世代奉仕委員長 大林則久さん>

皆さんこんにちは。私からは昨年1年間の高校生ボランティアネットワークの活動についてお話しさせていただきます。高校生の年度は4月に始まりますが、RCは7月から始まりますので、実質の活動期間は9ヶ月となっています。7月に総会を開き、夏休みから秋口に案を練り、11月から2月に交流会を行い、3月に総まとめをします。

2010年7月22日、市民館で総会を行いました。総会では前年度の会計報告や活動資金として36万円(1校3万円×12校)をRCCを通して支援金として贈呈をしています。実行委員を決めるルールがあり、各4校で幹事は3年に1回、実行委員長は4年に1回割り当てられます。各校に得意なボランティアがあり、委員を持ち回りにすることで得意な分野で交流会のテーマを決め、他の学校の人達も勉強ができるのです。総会にて何をしたいかなど意見交換が行われます。意見がまとめ、実行委員会で夏休みに話し合い、9月にその素案を発表します。昨年には念願だったボランティアネットワークのユニフォームを作りました。ボランティア活動の会場となった子ども未来館『ここにこ』では、手作りのおもちゃ(竹とんぼや塗り絵)や紙芝居で子供達と遊びながら交流しました。近くにある松葉公園でテントを設営し、お昼ご飯にはハイゼックスを使った防災食の炊き出し体験をしました。最後のイベントでは、高校生自らが消防署で危険な箇所を教えもらい、それを防災マップで調べながら回り、『ゴミ0運動』としてゴミ拾いも行いました。体験をまとめて、みんなで意見交換することが大切だと思います。3月にはホテル日航で行っている我々の例会に高校生達も招き、活動の感想を述べてもらいます。支援する中で一番気を付けていることは、高校生達が自立した企画を大事にすることです。精神的なフォローをし、あとはなるべく手を出さずにお手伝いすることに心掛けています。ご清聴ありがとうございました。

例会のご案内

■今週の行事 9月22日(木) なごやか例会

■次週の卓話 9月29日(木)

会員卓話: 高村 博三さん

テマ: 地区大会実行委員会のまとめ

■次々週卓話 10月6日(木)

卓話講師: 地区職業奉仕委員 高木 勝さん

テマ: 職業奉仕について